

假	假	假
金	金	金
計	計	計
2,000,582.11	1,860,353.33	2,000,582.11
合	合	計
		2,000,582.11

備考

※1 特別養老及ビ新（リ）維（ン）普通養老保険ニ對スル保費契約利益配當準備金ハ保險業法施行規則第三十二條ノ規定ニ從ヒ主務官廳ノ認可ヲ受タル確定利益配當準備金算出ノ方法ニヨリ之ヲ算出シ積立テタルモノナリ

※2 所有有價證券ニ對スル本期末含ミ利息（帳簿價格ノ市價ニ對スル差益）ハ壹千五百五拾九萬七千四百六拾七圓餘、内所有株式ニ屬スルモノハ壹千四百五拾貳萬六千六拾六圓餘ニシテ記帳價格ノ二割四厘ニ相當ス

◎ 損益計算書

損失		金額		利益		金額	
保險金	1,211,958.31	110		保險料	3,422,868.18		
保險金分割拂込	69,866			利息及配當金收入 ※1	6,433,265.33		
解約返戻金	1,890,564.44	144		財産賣却益	3,177,780.50		
普通養老保険契	5,001,572.00	20		株式	5,891.00		
特別養老保険契	3,411,211.16	16		株式以外有價証券	3,088,870.50		
特別利益配當金	1,074,433.66	66		有價証券償還益	2,314,469.17		
昭和十二年創設普通養老保険契約利益配當金	40,649.31	31		雑収入	717.72		
四十周年保費契	4,487.88	88		特別事業雑収入	5,580.50		
再保料	67,755.51	10		繰入社員養老積立金	1,940,000.00		
事業費	51,138.76	76		前年度繰越準備金	1,722,789.47		
税金	1,310,000.00	00		支拂備金	1,293,122.50		
財産評價損	1,953,966.00	00		責任準備金	1,560,663.93		
株式							

株式以外有價證券	267,236	00
財產減價償却及損	128,000	00
雜支	35,286	66
退職社員養老金	199,018	00
次年度繰越準備金	199,018	00
支拂備金	159,173	00
責任準備金	173,676	83
實費養老保險契約 特別危險準備金	124,117	17
普通養老保險契約 利益配當準備金	510,817	01
特別養老保險契約 利益配當準備金	65,531	88
昭和十二年創設普通養老保險契約 利益配當準備金	282,628	88

普通養老保險契約 利益配當準備金	510,817	01
特別養老保險契約 利益配當準備金	65,531	88
昭和十二年創設普通養老保險契約 利益配當準備金	282,628	88
保險契約特別利益 配當準備金	270,000	00
四十周年保險契約 特別配當支拂未済金	73,780	76

原本不鮮明

與亞保險契約利益 配當準備金	40,741.18		
保險契約特別利益 配當準備金	7,900,000.00		
四十周年保險契約 特別配當支拂未済金	4,000.00		
計	1,100,641.18	計	1,100,641.18
當年度純益金	69,836.18		
	1,170,477.36		
當年度利益金	1,074,941.18	當年度純益金	69,836.18
	1,074,941.18	前年度繰越利益金	1,035,398.12
	1,074,941.18		1,110,239.30

備 考

本期ハ別途計算ニ依ル特別養老保険ノ利益、新普通養老保険ノ利益及ビ與亞保險ノ利益中ヨリ各同額額ニ對スル利益配當準備金トシテ左記金額ヲ次年度繰越準備金ニ繰入レタルヲ以テ之ヲ前記利益金ニ加算スレバ左記ノ計算トナル

前記利益金 八拾萬壹千七百五拾九圓五拾錢也

特別養老保險利益配 壹百四拾壹萬壹千貳拾九圓六拾六錢也

官準備金繰入

新(リ)種普通養老保險利益配當準備金繰入 拾六萬九千五百五拾四圓九錢也

興亞保險利益配當準備金繰入 七千七拾九圓拾八錢也

合計 貳百參拾八萬九千貳百貳拾貳圓五拾參錢也

備考

※上経過資産ニ對スル平均利益リ三分四厘〇毛

(前年同期経過資産ニ對スル同平均利益リハ三分三厘九毛ナリ)

但シ経過資産ノ算出ニ用ヒタル期末繰資産ハ前年度財産評價額、財産減價償却及壞補損及大同生命保險會助成金ヲ控除シタルモノトス

※2 收入保険料ニ對スル事業費ノ割合 一割九分八厘

當年度利益金 八拾萬壹千七百五拾九圓五拾錢也

處分案

積立金	參萬五千圓
普通養老保險契約利益配當準備金	貳拾六萬五千九百六拾圓
別段積立金	拾五萬圓
株主配當金（年八分ノ割）	壹萬八千圓
役員賞與金	六萬五千圓
社員養老積立金	拾五萬圓
次年度繰越利益金	拾壹萬七千七百九拾六圓五拾錢

◎ 前年ノ通り年度決算ヲ終了シ利益金ヲ總分シタル後ニ於ケル當社ノ現狀左ノ如シ

一、昭和十九年三月末現在保費契約高 拾壹萬壹千貳百四拾壹萬八千貳百圓

一、昭和十九年三月末現在諸準備金 壹億九千八百六拾九萬七千參拾圓七拾五錢

内 譯

文 務 備 金	壹百五拾九萬壹千七百七拾參圓四錢
責 任 準 備 金	壹億七千參百六拾七萬七千六百八拾參圓九拾五錢
養老保險準備金	壹千貳百圓拾壹圓拾七錢
別危險準備金	

保險契約利益配
當 準 備 金

貳千五百六十四拾圓六錢

法 定 準 備 金

參 拾 圓 四 錢

總 株 積 立 金

參 萬 五 千 圓

別 段 積 立 金

貳萬六千五百九千八百拾七圓

社 員 養 老 積 立 金

貳萬五千七百七拾九圓

未 年 度 繰 越 利 益 金

拾壹萬七千七百九拾六圓五錢

拜啓

陳者本日開催ノ當社定時株主總會ニ附議致候各案件左記ノ通り御議決
相成候間此致御通知申上候

昭和拾九年六月貳拾壹日

大同生命保險株式會社

株主

殿

記

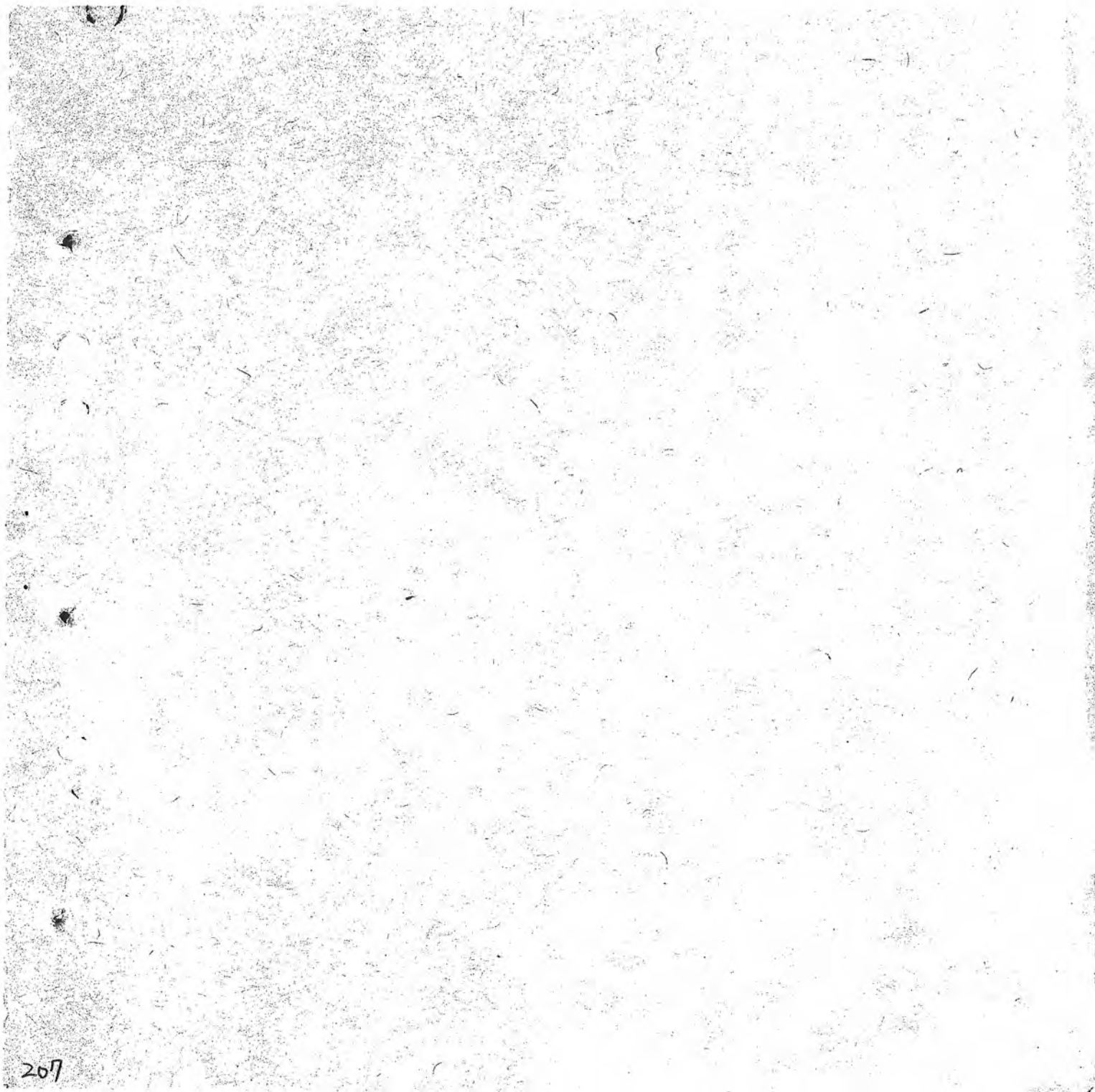
第一議案 承認可決

第二議案 原案通り可決

第三議案 選舉ノ結果取締役ニ廣岡久右衛門氏(重任)監查役ニ加
輪上勢七(重任)増田雷助(重任)兩氏當選セリ

第四議案 原案通り承認可決

以上



B

MEMO

日本銀行大阪支店

先割電話二千而諸、
者頭寫、而運付申書也

五年七月廿六

本令

富田行輔様

日本銀行大阪支店

擔保提供證書

昭和五年五月八日貴行カ株式会社加島銀行ニ付シ
 手形割引ノ方法ニ依リ而融通相成候金貳千貳百七拾六万
 老千弍也、而融通金債權ニ付シ金四拾萬弍千弍百也ヲ限交
 トシテ松島若義ノ左記權利ヲ擔保ニ提供致シ該權利ヲ行使
 使シ得ルコト相成候節、貴行ニ於テ直接左記表示中記載ノ
 供託株券ノ受領相成之尚該株券ノ受領ノ上、當然
 前記ノ融通金債權ノ擔保ニ供セラレタシモノトシテ以保有被成下
 産、万一株式会社加島銀行カ前記而融通金ニ因リ債務及
 附帯債務ヲ履行致サシ場合、何付タリトモ該株式ヲ任
 意而高分ノ上其收得金ヲ并濟、以充當相成毫モ異議

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

無之候、為後日證書依而如件

記

一、廣岡惠三、力大同生命保險株式會社、取締役トシテ同社
監査役ニ對シ、高松乃百六拾八條ニ基キ、供託シテ、大同生命
保險株式會社株券(廣岡惠三名義)五拾株、返還ヲ求
ムニ權利

昭和參年五月八日

兵庫附式庫部本山村表
六百九拾式番地

廣岡惠三

印

日本銀行大阪支店印中

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

證

(以法律及一切手續)

昭和元年法律第五拾五号日本銀行特別融通及損失補償法
 二據り賣店ノ株式会社加島銀行ニ付テ手形割引ノ方法
 二依り少融通相成ト金貳千貳百七拾九万九千九百也ノ以融
 通金債權ニ付シ金四拾九万九千九百也ノ限至トテ控者名義
 一左記權利ヲ昭和元年五月一日擔保ニ差入置トテ右手
 形本日期日ニ付更ニ左記ノ通リ切替継続以融通相成ト
 二就テハ前記擔保ニ昭和元年五月一日付擔保差入記書ノ
 約定ニ隨ヒ其儘以手形ノ擔保トテ差入申ト也

昭和元年八月四日

兵庫縣武庫郡中山町森
六百九拾貳番地

石岡 惠三 (印)

日本銀行大阪支店
昭和 年 月 日
物申

日本銀行大阪支店

右項係提供行為異議無承諾放棄、就而前記株券
ヲ返戻之ハキ事由發生致サ節、直接日本銀行、相法可申
外也

乃同生庫保險株式會社監査役

日星野行則

印

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

差入担保ノ表示

一 拙者乃大同生命保險株式會社ノ取締役トシ同社並重役ニシテ
高松市首大橋八條ニ基キ供託シテ拙者名義ノ大同生命保險
株式會社株券五拾株ノ返還ヲ求ム權利

所手形ノ表示

一 手形種類

約束手形

一 手形金額

金貳千貳百拾六萬參千七百參也

一 手形日付

昭和參年八月四日

一 手形期日

昭和參年拾月貳拾貳日

一 支払人

清水元次郎

一 受取人

株式會社加島銀行

昭和 年 月 日

以上

日本銀行大阪支店

式印

委任状

一、担当者

代理人として、権限行為を委任す。

二、大同生命湯陽株式会社

右 此二付名義者、其地之一切、必要行為。

右代理、委任状仍于如件

昭和 年 月 日

丸岡 惠三

(印)

委任状

承諾證書

大同生命保険株式会社

右、此名所有、高令投資 二、高介ヲ許シ、他一切買物トシテ而モ入ノ我々

承諾致小、此上ニ重ト、質權者ト、約定ノ結果、此名ニ付テ通知其地ノ手続ヲ要ス

如ク、隨意、該買物他人ニ取テ、手続ヲ行フ、並相成ト、其即、是、該、是、之、中

仍于承諾證書如件

丸岡 惠三

(印)

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

供託株券領證書

一 大同生命保陰株式会社株券五拾株

右定款才或拾八條ニ據ル取付没供託株トシテ之ニ受取付也

昭和六年三月拾日

大同生命保陰株式会社

逆査没

目録所行則

印

名 岡 惠 三 殿

昭和 年 月 日

昭和七年九月九日

大阪支店

特別融通整理部

御中

大同生命保險株式會社 ヨリ徵求致候計表左ノ通り

御送付申上候也

一保有之効契約高及同價値調

壹部

日本銀行大阪支店

保有々効契約高及同價値調

期 末 有 効 契 約 高	契 約 價 値		對 于 新 契 約 費 未 償 却 金
	(新 契 約 費 未 償 却 金)	未 償 却 金	
昭和六年度 普通養老 (決算年度新契約)	四〇三〇、八〇〇	一三九七一五	五九〇三四六六二
全 前 特 別 養 老	三四八八一、二〇〇	二〇六七八四	八八〇三四五九七
小 計	三八、九一二、〇〇〇	一、三四六五〇〇	四七〇
昭和五年度 普通養老 以前契約	一五一、一三七、六〇〇	四、二六六六一四	四五〇二八、二三〇
全 前 特 別 養 老	六〇、八七六、三〇〇	二、二六一、五五四	五五〇三七、一五〇
小 計	二一二、〇一三、九〇〇	六、五二八、一六九	〇〇〇
舊 種 類 倍 渡 養 老 終 身 等	五二五、三七五	六、七〇六	九四〇一二、七六六
合 計	二五一、四五二、二七五	七、八八一、三七六	四一〇
會社カ純保險料式責任準備金ヨリ控除 シタル金額(所謂新契約未償却金)		三、〇七〇、〇一九	〇二〇
差 引		四、八一、三五七	三九〇

19.13

16.17

217

17.60

31.01

35.05

前

日本銀行大阪支店

備考

一、新契約費ハ對千三五圓ノ割合ト見做ス

二、近年第一回保險料ヲ拂込ミタルノミニテ解約スルモノ著増スルノ傾向アルヲ以テ之等惡質ノ契約ヲ除斥シタル第二回以降保險料ヲ拂込ミタル有効契約ノ價值ハ對千新契約費三五圓以上ニ昇ルハ當然ニシテ今次ノ調査ニヨレハ對千普通養老ニ在リテハ四八圓八五特別養老ニアリテハ四四圓三五トナルモ茲ニ對千標準額トシテ普養四一圓五〇特養及舊種類四〇圓ヲ採用スルコト、ナセリ

三、會社ノ公表セル契約高ハ二六六四五一、二七五圓ニシテ本表有効契約高ヨリ一五〇〇〇〇〇圓多シ右差額ハ保險料不拂ニヨリ消滅セシムヘキ所謂失効契約ナルモ營業上ノ便宜ノタメ之ヲ有効扱トシテ會

上

〇
〇
〇

〇
〇

日本銀行大阪支店

社考課狀面ノ期末現在契約高ニ包含計上シタリ從ツテ有効扱トセル
失効契約ニ對シテハ有効契約同様責任準備金並ニ利益配當準備金ヲ
積立テ居ル次第也

過剩積立金調

責任準備金額中ノ過剩積立 四五〇〇〇〇

有効扱トセル失効契約ニ對スル過剩準備 三五〇二七〇〇六六

同 前 利益配當準備金 三五六二四六三四

合 計 四三〇八九五七〇〇

備考 上欄過剩準備トハ有効扱トセル失効契約ニ屬スル責任準備金

(三八八八九五七圓)ヨリ同上ニ對シ失効後二ケ年間解約返戻金支

拂ノ義務アル爲積立ツヘキ支拂備金(此金額四八九三五一圓六二)

ヲ控除シタルモノナリ

220,000 1090,000

11



日本銀行大阪支店

株主ノ権利ニ屬スル勘定

株 金 三〇〇、〇〇〇、〇〇〇

法定準備金 三〇〇、〇〇〇、〇〇〇

後期繰越 一八九、一二三、七七一

計 (三) 七、八九一、二三、七七一

(一) 四、八一、三五七、三九九

(二) 四、三〇、八九五、七〇〇

(三) 七、八九一、二三、七七一

計 九、九〇、九四三、八一〇

一株當り 一、六五一圓餘

右記各項目ニ屬スルモノハ其收入又ハ支出ノ都度保險契約ノ各箇ニ付テ夫々計算セラル、ノテアリマスカラ（繰越不足ハ特別養老保險全部ニ屬スルモノカ其收支ノ分離計算ニ依リ他保險種類ノモノト區別セラレアルコトハ勿論テス）特別養老保險ニ屬スルモノト其他ニ屬スルモノトハ各科目ニツキ其實際額ニヨリ之ヲ判然ト區別スルコトカ出來ルノテアリマス。從テ右記各項目ノ收支ハ特別養老保險ニ屬スル收支ノ實際額ニヨルノテアリマス。

註 本會社全体ノ收支ヨリ分離シテ算出シタル

特別養老保險ノミニ屬スル毎年度ノ利益ハ定款及約款ノ規定ニ依リ此ノ内ヨリ七割五分以上ヲ次年度ニ繰越ス特養保險契約利益配當金トシテ控除シ殘額ヲ會社全体ノ收支殘金ニ組ミ入ル、コトニナツテ居ル關係上特養保險ノ毎年度ノ收支計算ニハ繰越利益カナイコトニナツテ居マス。之ニ反シ若シ或ル年度ニ損失ヲ生シタル場合ハ之ヲ會社全体ノ損益ニ組入レハシマスルカ將來此種類ヨリ生

スル利益ヲ以テ之ヲ補填シタル後ニアラサレハ保險契約ニ對シテハ利益配當ヲスルコトカ出來又譯テアリマスカラ計算中ニ繰越不足ナル科目カ掲ケラル、コトカアル次第テス

三、前項各科目以外ノモノハ事實上保險種類別ニ其收支ヲ分類スルコトカ出來マセヌカラ之カ計算上ノ分離ヲナスニ便スル爲適當ナル計數ヲ援用シ之ニ基キ比例法ニ依リ按分シ分離計算ヲ行フノテアリマス。

B 支出ノ内 税金中印紙税、税金總額ヨリ印紙税及所有財産ニ對スル税（不動産ニ關スルモノ第二種所得税資本利子税等）並ニ第一種所得税同附加税及營業收益税同附加税ヲ控除シタル殘余ノ諸税、事業費中社費

右ノ支出ハ會社全体ノ契約高ニ對シテ按分スルノカ適當テアリマスカラ會社保有ノ總契約ノ年始及ヒ年末現在高ノ平均額及ヒ特別養老保險契約ノ年始年末平均額ヲ調査シ之ニ依リ比例按分シマス。但シ支出金額ノ三分ノ一ハ契約件數ノ比例ニヨリ三分ノ二ハ保險金額ノ比ニヨリ算出シマス。

約ニ屬スル中數資本額トニヨリ比例按分シテ算出シマス。

前項會社全体ノ中數總資本額ハ左記各項目ニツキ其ノ年始年末現在高ノ和ヲ二分シタルモノ、合計額ヲ所要額トシマス。

「拂込株金、法定準備金、責任準備金、保險契約利益配當準備金、特養利益配當準備金、保險契約特別配當金、支拂備金、使用人養老積立金別段積立金、社員身元保證金、利益又ハ損失」

右右ノ内利益又ハ損失ハ其ノ年始現在額トシテハ前年度ヨリノ繰越利益又ハ損失ヲ年末現在額トシテハ當該年度ノ利益ヲ算定スル前ニ定款第卅三條ニ依リ利益配當所要額トシテ支出欄ニ計上セネハナラヌ特別養老保險契約利益配當金ヲ除外シテ計算シタル當該年度ノ收支殘金ヲ採用シマス。

特別養老保險契約ニ屬スル中數資本額ハ特別養老保險契約ニ屬スル左記科目ニ付キ其ノ年始及ヒ年末現在高ノ和ヲ $\frac{1}{2}$ シタルモノ、合計額ヲ所要額トス

「責任準備金、保險種類ノ變更ニヨリ繰入レタル年始責任準備金、保險契約利益配當金、支拂備金、剩餘金又ハ不足」

右ノ内剩餘金又ハ不足ハ其ノ年始現在額トシテハ前年度ヨリノ繰越不足（繰越剩餘金ナシ前出註参照）ヲ年末現在額トシテハ下式ニヨリ算出シタルQノ値ヲ採用シマス

$$A+B \times \frac{C+\frac{1}{2}Q}{C} = 2 + B \times \frac{C+\frac{1}{2}Q}{C} + r + s + Q$$

（記號説明）

A 特別養老保險契約ニ屬スル「前年度ヨリ繰越金」「保險契約、利益配當金、支拂備金、責任準備金」「保險料」「保險契約ニ關スル雜收入」「諸利息中延滞利子」ノ合計額

B 會社全體ノ「諸利息中保險料延滞利子ヲ除キタルモノ」「財産償還益」「財産賣却益」「雜益」ノ合計額

C 會社全體ノ中數總資本額

D 特別養老保險契約ニ屬スル中數資本額ヨリ當該年度末ニ於ケル剩餘金又ハ不足ノ $\frac{1}{2}$ ヲ控除シタル金額

Q 當該年度ノ剩餘金又ハ不足

又 特別養老保險契約ニ屬スル「前年度ヨリ繰越不足」「支拂保險金額」
「解約返戻金」「保險契約利益配當金」「義濟金」「事業費中代理
店手数料、紹介料及ヒ醫師報酬ニ含マル、囑託醫報酬」「次年度繰
越金（責任準備金、保險契約利益、配當準備金、支拂備金）ノ合計額
β 會社全体ノ[※]「税金中所有財産ニ對スルモノ、第二種所得稅及ヒ資
本利子稅」「財産賣却損」「財産評價損」「雜損（社員身元保證金
ノ利子ヲ除ク）」ノ合計額

γ 特別養老保險契約ニ屬スル「税金中、所有財産ニ對スル稅、第二種
所得稅、資本利子稅ヲ除キタルモノ」「事業費中社費」ノ合計額（前
掲二ノB、支出ノ内項參照）

δ 特別養老保險契約ニ屬スル「事業費中其ノ他ノ契約費及ヒ囑託醫以
外ノ醫師報酬」ノ合計額

註[※] 税金中營業收益稅同附加稅及ヒ第一種所得稅同附加稅ハ會社ノ總
利益金ヨリ保險契約ニ對スル利益配當資金ヲ除キタルモノニ對シ

課税セラル、モノ故特養保險ニ屬スル利益ヲ別途ニ計算シ保險契
約ニ對スル配當資源ヲ算定セントスル場合ニハ何等關係ナキモノ
テアリマス。

9/6月現在 保有有効契約高及同價值調

(但 1/9月償還計畫案參考資料)

期末有効契約高	對千新契約實費 未償却金	契約價值 (新契約實費未償却金)
(昭和八年度 (決算年度)新契約) 年末現在高) 普養 495,600 ^円	29.55厘	146,319.78 ^円
(同上) 特養 45,844.750	29.655	1,359,526.06
計 50,796,350		1,505,845.84
(昭和七年度前 契約)年末現在高) 普養 130,575,050	24.364 (-)	3,181,312.03
(同上) 特養 104,919,700	31.564 (-)	3,311,653.03
計 235,494,750		6,492,965.06
旧種類 (現在新契約) の旧種類) 42,170.00	13.014 (-)	5,488.17
總計 286,712,800		8,004,299.97
會社カ新契約未償却金トシテ純保險料式 責任準備金ヨリ控除シタル金額		(*) 2,181,622.54
差引 (保有契約價值)		5,822,676.53

昭和十二年八月廿七日

沼崎 文太郎 様

山 村 秀



拜啓殘暑仲々ニ酷シク候處愈々御清康奉慶賀候陳者昨日電話ニテ御申越
相成候河泉銀行ノ辨濟期延期證ハ別紙寫ノ如キモノニ有之又大同生命ノ
六月末保險契約利益配當準備金等ノ數字ハ下記ノ通りニ有之候屬御承知
被下度先ハ御返事迄如此御座候 敬具

記

一、保險契約利益配當準備金

八九八八七三七圓五一ノ内

特別養老保險分

二三八四一二三圓二三

三、事業費內譯 ✓

社 費

一、三四〇九六八圓五六

代 理 店 費

三二七九六九圓二六

✓ 紹 介 手 數 料

六一六五八二圓六五

✓ 其 他ノ 契 約 費

✓ 一、四四五八八四圓〇九

✓ 醫 師 報 酬

二九二六八六圓五三

計

四〇二四〇九一圓〇九

三、銷却金內譯 ✓

有 價 證 券

一五四四一二圓七五

信 託 有 價 證 券

二〇三八圓

不 動 產

一〇〇〇〇〇圓

什 器

二〇〇〇〇圓

計

二七六四五〇圓七五

十月廿六

審査部

沼崎文太郎様

大田生介様御調査許可書送付中との旨を査収
済下り不意に延滞致した。是等申送付中との
旨控見者又右に之分十二八歩申致す下り至
迄。甲子一

日本銀行大阪支店

山崎 長 保

日本銀行大阪支店

14/6/30 現在株價調 (先方提出資料に依り)

株主勘定 3,600,326.52

有價証券餘剰 12,473,687.-

過剰準備積立 911,608.64

保有契約價值 9,649,781.66 @ 18.30

計 26,635,403.82 ÷ 6,000 = @ 4,439.23

2/6	4/6	9/6	11/6	14/6	12年間, 增加高 3,029.23 平均 252.43
1410-	1562-	3514-	4069.49	4439.23	6,000株=31年 1514,580.-

昭和 年 月 日

昭和拾四年拾月五日

日本銀行大阪支店

山本 城長 保

宝善堂

波崎文左衛門様

先以所申圖、右付林、
片送付申上。右所呈、
中動不可取方要子、

日本銀行大阪支店

大同生命

株主勘定 3,600,326.52

内 株金 300,000.-

法定準備 300,000.-

引当積立 2,730,817.-

後期繰越 267,509.52

(大同生命保健会=対スル助成金)
11,5000-ヲ控除シテ
11,5000 .. 未済未支等

保有契約償価 9,647,781.66

18.30

但 契約有 542,163,808.- 引失効契約 1,500,000.-

ヲ控除シテ 527,163,808.- = 対スル新契約

獲得実費(対テ=十円)未償却金

14,730,295.07

引

27.24

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

純保料式責任準備金繰上未済額

5080.5-1341

ヲ除キタル額

① 964

昭和 年 月 日

十五年五月二十日

日本銀行大阪支店

大田三平様

松本和夫

審査部

山田万亀雄様

拝啓 益々市隆昌榮上候

陳者 近日市依頼相変候 大同生命関係資

料 本日入手致之別紙 同封市送付申上候

間市查收相成度候

尚二三ノ莫ニ付キ左記補足致候

敬具

記

昭和 年 月 日

日本銀行大阪支店

一 事業費及利息收入ノ内訳科目ハ今期ヨリ

商之者ノ新書式ニ準拠シタリ

二 予定死亡ハ商之者ノ新書式ヨリ削除サレタルヲ以テ

其金額モ計算シ居ラス 特参考点ニ實際死亡

ノ計表特送付申上ク

三 今期ニ於ケル解約失効ノ増加ハ新契約其他増ヨル

必然の結果ト考ヘラル(二六九)ニ特送付計表第一表示(女

特参照)

以上

昭和 年 月 日

利息及配当金收入明細表

科 目	昭和14年度		昭和15年度		摘 要
	金 額	利 廻	金 額	利 廻	
預金利息	93,998.60	2.367	107,216.65	2.404	
金銭信託利益金	0		2,520.54	4.000	
公債利息	618,605.80		658,602.96	6.161	
社債利息	1,096,949.20	6.233	1,111,039.11	4.481	5,998
株式配当金	2,857,276.36		2,695,721.96	7.220	
外国有價証券利息及配当金			279,126.18	4.447	昭和14年度、外国有價証券利息及配当金、上記、公債、社債、株式、三項目中、各々
信託有價証券利益金	636,299.69	4.038	720,946.24	3.994	
信託國債利益金	(636,299.69)	4.038	(720,946.24)	3.994	
貸付金利息	1,273,848.54	5.975	1,235,109.16	6.183	
保険証券担保貸付金利息	(607,876.44)	6.377	(408,381.96)	6.944	6.638 昭和14年度、保険料積立貸付金利息、上記、保険証券担保、項中、各々
保険料積立貸付金利息			(199,362.16)	6.090	
其、他、貸付金	(665,972.10)	5.651	(627,264.04)	5.799	
不動産収益	464,250.48	5.581	473,221.98	5.687	
保険料延滞利息其他	18,825.13		13,924.26		
合 計	6,560,163.80		7,297,655.24		

14年度 } 死亡率比較表
15年度 }

	死 亡		経 過 契 約		死亡率 %		
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	
十四年度	男	3010 ¹⁴	4,168,604 ¹⁴	336,804 ⁰⁵	469,731,489.540	8.94	8.87
		(2762)	4,971,554	(337,180.5)	470,132,934.5	(11.76)	10.57
	女	(1036)	1,115,436	115,942.5	136,463,838.0	(8.94)	8.17
		(4798)	5,284,040	(453,122.5)	606,195,297.5	(10.57)	8.72
計	4333	5,086,990	475,848.0	606,596,772.5	9.11	8.72	
		5-085	6,086,990	476,224.0	606,596,772.5	10.68	10.03
			総額 202,910				
十五年度	男	3437	4,319,247	402,389.5	559,758,707.5	8.54	7.72
		3,989	4,944,597	402,665.5	560,071,382.5	9.90	8.83
	女	1167	1,254,456	1,264,98.5	164,231,002.0	8.55	7.64
		4604	5,573,703	538,888	723,985,709.5	8.54	7.70
計	5156	6,199,653	539,164.0	724,302,384.5	9.56	8.56	

総額 625,350

() 人員ヲ示ス
未 〃 戦死除外死亡ヲ示ス

昭和十六年度
大同生命事業查明細表

16. 9月 大阪東區中區丸太町 銀行大阪支店

費目	金額	內譯費目名
外務員經費	4,226.650.25	給與旅費, 募集督勵費, 募集經費
✓ 醫務經費	472.625.75	醫員給與, 診查料, 醫員旅費, 其他
✓ 集金經費	590.101.03	集金手取料, 振替貯金手取料 集金員給與, 其他
✓ 其他, 經費	1,794.507.72	役員給與及旅費, 諸給與及旅費 交際費, 調查費, 廣告宣傳費, 通信 費, 財產管理費, 福利施設費, 寄附 金, 其他, 出損, 用紙及印刷費, 消耗費 雜品費, 新聞雜誌費, 借地借家費, 雜費
合計	7,629,273.55	

昭和十六年 九月 日

昭和十六年度
大同生命財産減価償却及増補損明細表

16年9月大阪支店（上依元）同

日本銀行大阪支店

種 類	金 額	算 出 基 礎
建 物	100.000—	既 = 規準以上 = 償却済 / 元 = 付テハ償却 却ヲ見合セ其ノ他ノ元 = 對シ規準額償却ヲ シ残余ハ償却不足アル元 = 按分テ償却ス
小 計	100.000—	
什 器		
鐵製家具類	1.659.50	20年間乃至30年間償却
木製家具類	2.125.45	5年間乃至10年間償却
諸機械類	2.473.16	3年間乃至5年間償却
電 話	7.137.69	15年間乃至20年間償却
其他雜器具類	14.604.20	2年間乃至5年間償却
小 計	40.000—	
合 計	140.000—	

昭和十六年 月 日

大同生命園簿 四言

九月十一日 手稿

1 貸付金 其他回收不能也 已額

2 責任保何余剩 積立金

3 未效型の對立 責任保何の及 以事保何金

4 期末型の高、内未效分

5 有效保陸型の任何の内若詳細

6 子系費の内訳

右の白九月十一日の右取支取本札目も手稿あり

右取支取の付内は依本札目なり 内年次があはるこの調査書あり

簿之と、1. 分存する 計算書ありと、2. 査得甲一人ナシと 連名

1. 向合の類、但し本年未済迄と 調査定了ノ事ありと由ナリ

つまじと猫手アリナリ、右、左、徳内ナリ

○1 収入利息の内訳

2. 甲種年保名多分保陸新

9/17 印 田本

九月九日

○ 査得及、事、定、元、金、額、四、言

(14年存 和半
15年存)

福利金, 1914

視察費 $(4304.942 + 5388.720) + 2 = 4846.831$; 109.83719 2.2

貸付費 $(19438.658 + 20913.316) + 2 = 20175.487$; $1.235.109.16$ 6.12

加面証券 $(90.614.071 + 104.835.550) + 2 = 97.724.810$; $5.465.449.51$ 5.59

不動產 $(8308.745 + 8324.809) + 2 = 8316.777$; $473.3269A$ 5.69

外 =
保險利通利息他 $13.934.36$

7.297.651.24

131.063.905.1 ; 7.243.720.88

152

原本不鮮明

契約價
値説明

A

249

TRADE ROYAL MARK

昭和
年
月
日

昭和三年
融通(高)時ノ資料
ヨリ抽出ス

日本銀行

別冊大同生命保險株式會社株式價值補正記載ノ如ク其ノ
算定ノ標準タル新契約也

(1) 同社ノ既往定額ニ生レテ對テ千四百拾五圓ノ基礎トシ保
留契約金體ニ對テ平均拾五圓拾七錢トセバ

一株當リ定額價千四百拾五圓トナリ

(2) 同業會社一般ノ概合ヨリ對テ千四百拾圓ノ基礎トスレバ
保留契約ニ對テ平均拾九圓拾八錢トナルヲ以テ之ヲシバ

一株當リ實價千五百四拾九圓五錢トナル

尙書會社株式ノ價值ヲ算定スル上ニ於テ考慮セラルベキ事
項ヲ考テレバ

一 會社資本金ハ僅カニ多額美田ナルヲ以テ既往ニ十五ヶ
大同生命保險株式會社

年間利益ノ大部分ハ結局社内保留ノ結果トナリ多年
ノ蓄積ハ多大ニシテ今日ノ株式實價値ノ増大ヲ来ス

タルコト

一 株式定額價ノ算定ハ現在ニ十五周年留時ニ於ケルモ
ノナルガ五ヶ年以前即チ二十周年留時ノ株式定額價ハ
目下合理的ニ算定中ニテ完了ノ上ハ更ニ貴臨見ニ
供スベキモ其當時ト今日トノ株價増加率ハ多大ナルベ
ク其率ヨリ推算シテ將來三十周年ニ於ケル株式定額
價ノ増加ハ甚大ナルベキヲ信ス

一 別冊ニ記載セル如ク三十周年ニ於ケル豫想ニ依レバ
保留契約方ニ億圓千七百萬圓資産八千九百五拾
六萬四千圓當該年度純利益百五拾八萬八千六

一様多し

百九拾参円ニシテ當二十五周年ニ対比スルハ保留契約
ハ拾四割参分五厘資産ハ拾八割四分或厘純利益
ハ拾八割四分参厘トナルヲ單ニ取直ヨリスルモ三十
周年ニ於ケル株價ノ増加ヲ推測ニ得ラルベシ
一當社総株式云々。株内他人所有ハ僅ニ三十九株ニ
シテ五九六株ハ廣岡家ニ取纏メアルコト
以上

共一八號

大同生命保險株式會社

株式價值調

當會社一株當價值額

保有有効契約當價值 3,603,794.40 (別紙(一)参照)

資産負債勘定中過剩價值 3,058,902.74 (ハ(ロ)ハ)

株主權利=算入勘定 1,211,434.20 (ハ(ハ)ハ)

合計 0,674,212.00

資産勘定中欠損見込額 210,204.- (別紙(二)参照)

差引 0,463,920.00

6,000株=対ニ @ 1,410.65

備考 契約價值減除考、超首=依リ算定スル中、當會社、
價值、 $\frac{9246320.19}{6000} = 15410.53$ 一株當價值 1,541.05 トナルベシ

大同生命保險株式會社

(1) 第

保有有效契約書及同價原額			
有效契約書	契約原額 (新契約書及原額)	新契約書 原額	備考
昨年改新契約 3556/600	1,246,424.05 1,246,325.62	31.01	新契約書 71000 日 4536 日 2-22
新契約外 現種額 106365.775	1,279,202 5,770,606.31	31.01	10120 日 契約書 17 217 日 契約書 1
旧種額 920,000	1,615,000	19.64	契約 1 獲得 7 日 3560 日 契約 207
計 222,047.375	7,041,126.90	31.60	
為 壽險社所管 新契約書及原額 (2019.1.1 以前 契約書及原額)	3,437,232.45	15.15	(一核計) 1541.25
表 31	3,603,964.40	16.17	1541.25

外 2 種 契約 7 種 2 種 債 權 2 種 新 契約 書 及 原 額 2 種 日 用 7 種 日 用 7 種

壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種

壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種 壽險社 1 種

大同生命保險株式會社

「新契約書」一類、其下費用「見做」之「契約原額」記入
「舊契約書」一類、其下費用「見做」之「契約原額」記入
「年 2 度 部 0.30」之「1.1.1」之「債 權 部 所 有 7 種 出
之 1 種」現存契約、原額、新額 20 21 21 而 27
保險契約... 平而... 於 3 業 任 事 務 所 所 附 財 產 7
行 7 21 10 日 本 局 2 21 新 額 2 21 契約... 所謂 純 保 險
種 式 業 任 事 務 所 在 1.2.1 11

壽險社、契約... 純 保 險 種 式 業 任 事 務 所 在 2 21 會 社 所 是
、新 契約 書 及 原 額 全 7 種 除 2 21 所 謂 4 2 1 日 式 業
任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業 任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業
任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業 任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業
任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業 任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業
任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業 任 事 務 所 在 1.2.1 日 式 業

說明書(1)

2000 收單 + 9

無效

新架的取用 = 5 報正, 吳敏, 胡有 2000 右台社, 如, 非台
 2000 號, 37 35 年 10 月 7 日, 9, 2000 元 2 號, 13 台社, 陳性,
 許是 2000 場台 普通 10 月 7 日, 吳, 2000 元 10 部 正和場 10 元 2
 年 2000 元 10 月 7 日, 吳, 2000 元 10 部 正和場 10 元 2
 架的, 許像, 吳, 吳 4, 3006.107.47 10 元 10 部 正和場 10 元 2
 10.60 10 元 2

大同生命保險株式會社

(四) 号

資産負債勘定中ニ含レル過剩價值

有價証券評價差 1,452,410.00 (別冊明細書参照)

不動産全上 1,092,950.45 ()

責任準備金過剩積立額 1,090,000.00 x

貸付契約五割ニ対スル
責任準備金積立額 105,960.30

貸付ニ対スル準備積立額 35,650.02

合計 3,080,982.74

備考 勘定科目以外ノ過剩財産ト行計上シ得ヘキ未收利息

(概算拾七万円)アルモ之ヲ有田各ニタリ

大同生命保險株式會社

(1)
部

株主の権利 = 原簿に基き

株金	法定準備	別段積立	後期繰上
300,000円	+ 300,000円	+ 500,000円	+ 111,434円70
= 1,211,434円70			

$$300,000円 + 300,000円 + 500,000円 + 111,434円70 = 1,211,434円70$$



大同生命保険株式会社

產
資 金 勘 定 中 欠 損 額

(三)
部

休業銀行預金=対外欠損見込額	25,204,000	(預金1/6割)
貸付金中欠損見込額	165,000,000	(別冊貸付明細表参照)
代理店勘定中回収不能見込額	5,000,000	
仮掛勘定中	15,000,000	上
合計	210,204,000	

大同生命保險株式會社

第
考

特別改算期末現在契約高並資産利益調

	現在契約高	資産(株・株金等)	前年度純利益
五周年度末	21,587,725円	1,242,307円	16,612
十周年度末	45,736,050,	4,477,429,	07,026
十五周年度末	61,354,500,	11,690,465,	* 033,344
廿周年度末	139,117,275,	26,309,067,	1,055,197
廿五周年度末	227,047,375,	40,607,007,	1,946,146
卅周年度末	327,000,000, (前期増加率費用)	89,534,000 (前期増加率費用)	2,580,693 (前期増加率費用)

* 当該年度に有償証券の処分
 益ノ増減436,000円ノ利益ニ付テ
 21,587,725円+11,942,297円+436,000円
 ノ増減を以て算出ナリ

大同生命保険株式會社

第
考

特別決算期間別利益処分調

特別決算期間	各年度利益積算	各年度普通分配金	特別決算期 保険特別利益 特別利益	全額 株主利益=存 特別分配金
11-15年度	1,654,773円	1,332,250円	0	322,515円
16-20 "	2,509,301円	2,492,160円	500,000円	597,213円
21-25 "	6,090,511円	3,733,004円	1,000,000円	1,356,707円
26-30 " (予想)	10,336,400円 (前期増加率採用)	5,593,230円 (前期増加率採用)	1,500,000円 (合理的予想=7.2%予想)	4,093,238円 (増引5%)

* 拾五周年末決算=於テ既経各年度=於テ利益中ヨリ積立未
 レル金額1,200千余円ヲ保險契約利息配当準備金ト
 テ從來配当ノ保險種類ヲ配当付保險種類=差
 更ニ既経締結ノ契約ニ等シク配当=均等得ルノ資=
 供スリ而シテ今後ハ安ノ配当ハ爲=要スル準備金ハ

大同生命保險株式會社

各年度利益ヨリ繰入ルコトニ更ニ=剰利益ハ累積シ
 テ五ヶ年毎ノ大決算=於テ特別配当トシテ保險契約
 =モ之レヲ分配スルコトナセリ

新契約費調査抜萃

自大正五年七月
至、拾年六月 五年平均

新契約支調査抜萃(自大正五年七月五子年平均)

一 募集費 対千二拾参四

内訳

外事務俸給(第一線伝動社外) 対千五四

一般契約費(支店長以下監督者旅費支給等) 対千貳四

社外契約費(紹介手続科外事務旅費手給等) 対千拾六四

二 診査費 対千四四八拾銭

内訳

社医俸給(会社雇傭医員給料) 対千貳四拾銭

診査費(社医車代及旅費等記医診査料) 対千貳四拾銭

三 業務費 対千六四四拾銭

内訳

大同生命保険株式會社

俸給及雜給(本社幹部支店長俸給一部契約及外事務^給費) 対千貳四拾銭

慰勞金(外事務^給前項準契約維持^(二高)費) 対千貳拾銭

交際費及旅費(幹部^給支店長旅費及^給支店長其他^給費) 対千貳拾銭

用紙印刷費及通信費及消耗費 対千七拾銭

家賃雜費 対千五拾五銭

税金 対千拾五銭

四 募集奨励費 対千参四五拾銭

内訳

本社奨励費(各店及社外^給期未責任^給代理店^給上) 対千四八拾銭

特別奨励費(特別記念募集^給費) 対千七十銭

合計新契約費 対千参拾七四七拾銭

備考

業務費ハ新契約締結ニ対スル事務上ノ費用ニテ其中
 俸給及雜給ハ所謂後方勤務費ノ給料ヲ計上シ
 慰勞金ハ在後方勤務費及外事社費医費全部ノ半其月毎ノ
 慰勞金ニ回分ツ計上ス
 税金家賃雜費消耗費等ハ本支店ニ於テ支出シタルモノ
 其實際ニ適応スル比率ニヨリ新契約及契約維持費及
 財產管理費ノ三者ニ分類シテ計上シタルモノナリ

大同生命保險株式會社

契約價值調査資料

日本銀行特別融通整理部

10,2-300

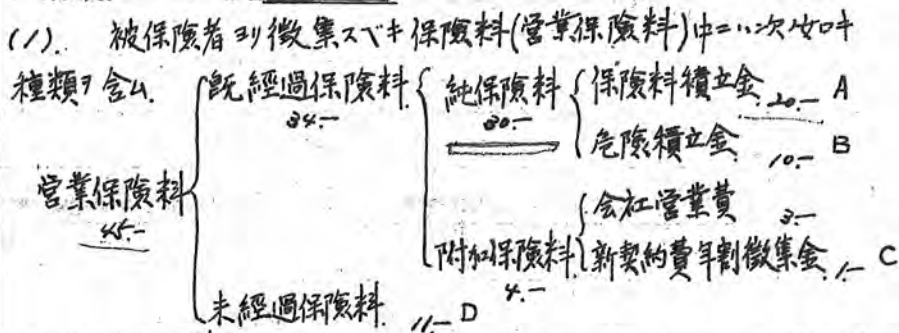
265

0260

保險會社(2)
(生命保險)

生命保險會社株式價值ヲ調査スルニ其ノ株主勘定、資産ノ過剩價值ノ外、保有契約高價値ヲ加ヘ其合計ヲ以テ總價値トス。

(1) 保有々別契約高價値	2,156,077.22
(2) 資産負債勘定中ノ過剩價値	3,486,600.24
(3) 株主ノ權利ニ屬スル勘定	1,211,434.28
計	6,854,111.74
資産帳損見込	-210,284.-
	<u>6,643,827.74</u>
株數 10,000株 株價 664.38	



責任準備金

A+Dノ責任準備金トシテ積立ツ。Bニ他ニ保險事由起ルル時ニ支拂ニ充テ。C——今三十年満期ノ四ノ保險一口ノ新契約費ヲ30.-ト假定シ會社ニ此費用ヲ契約期間中、年割ニテ毎年1.-保險料内ニ含メテ徵集ス。

會社ニ此一口ノ契約ヲ得ルル為ニ次々如キ支出及積立ヲ要ス。

29.- ----- 新契約費内第一回徵集金差引残、即チ當初現金支出。

3.- ----- 會社營業費

20.- ----- A.

10.- ----- B.

11.- ----- D.

73.-

Aノ金額ヲ積立フルヲ純保險料式積立トシ、シカニ

實際營業保險料ニCヲ引去リテ44.-トナリ、結局(20

-44) = 29.- 不足ス。之ト同時ニ新契約費ニ一旦、

支出スレバ其後、被保険者=対スル会社ノ権利トシ、年々徴集スベキモノナルモ前記ノ如キ不足
 アルヲ以テ之ヲ減スル為ニ本業準備金トシテ積立セキモノ(A)ノ内ヨリ例ハハシクテ積立テ残ル
 7先ニ新契約費ニ充當スルヲ、ケルメル式積立トシ、故ニ会社ガ、ケルメル式積立ヲナス場合
 11会社ノ實際、責任準備金、純保険料式ニヨリ計算スルモノヨリ新契約費充當セル金額
 (次表中口)ヲ扣除セザルカラス。

契約高價值	有効契約高	契約價值(新契約資本價額金)	対40年前	備 考
昨年度新契約	35,561,600.-	1,032,064.48	29.0%	新契約費一口40日=付20日
新契約外現種類	186,365,775.-	4,549,188.56	24.4%	一回限リ解約多ク以テ一回以上 1并込1契約費733トス
旧 種 類	920,000.-	10,156.80	11.0%	
計	222,847,375.-	(1) 5,592,409.84	25.0%	(数字ハ全部假ニ作りカモ)

積立金トシテ留保スル内新契約費充當セルモノ(口) 3,437,332.88
 (1) 2,155,077.37

(1) 純保険料式ニヨリ準備金付、契約價值 (口) 7金額(純保険料式責任準備金
 (1) 4ルメル式責任準備金付、契約價值 (1) 7金額(口) 扣除スルケルメル式準備金トシ

(2) 有價証券評價差益	1,080,920.37	(1)	容易ニ調査シ得ルモノ
不動産	1,092,963.88	(2)	以下ニ調査困難トシ、金ヲ扣除スル、又ハ会社ガ 評價又ハ計上セルモノ何%ヲトス
失効契約ノ未払責任積立	1,092,963.88	(3)	
金上利益面ニ積立	35,660.02	(4)	
責任準備金過剩積立	1,090,000.-	(5)	
計	3,486,500.24		

(3) 株金	500,000.-
未定積立金	300,000.-
別金	200,000.-
後期保費	111,434.28
計	1,211,434.28

新契約費 30.00 年割 1.00
 積立保険料 100% 被保険者将来為積立
 危険 他社保費若死亡等ヨリ引合
 追加 社会保険費
 新契約費、年割徴収料
 最初契約時、支出及積立(30.00) 一年分、差引実除 29.00
 3.00 社会保険費
 10.00 危険保険料
 20.00 積立保険料
 62.00
 實際徴集金額 84.00
 28.00

保有有効契約高及同價値調

	有効契約高	契約價値 (新契約費未償却金)	対4. 新契約費 未償却金	備考
前年度新契約	50,000,000	1,900,000	3A-	新契約費7,000円=付 40円12
1. 新契約外, 現種類	250,000,000	8,000,000	32-	第一回抽選に2回参加し 700円以下 2回参加以上 契約獲得費1142=12
旧 種 類	1,000,000	19,000	19-	
計	301,000,000	2. 9,919,000	30- 32.25	30. 32.25 純保料未償却金 付, 保険料未償却
新契約費未償却金 純保料未償却金 扣除不付金 411212未償却金	新契約費未償却金 純保料未償却金 411212未償却金	1. 4,500,000	15-	
差引		3. 5,419,000	5- 18-	411212未償却金
270				

1. 外=保險料不拂 ⇒ 消滅認取中契約 (4,000,000 - P)

2. 純保險料式責任準備金付 (E)

3. 4LxL 式責任準備金付 (E) 即 4 契約價值 4 年 = 付 18 年 +)

(/)

一株當價值調

摘 要	金 額
保有有効契約高價值	5,419,000
資産負債勘定中過剩價值	* 4,000,000
株主ノ權利 = 屬ス勘定	☆ 2,000,000
計	11,419,000
資産中欠損見込	(-) 400,000
差 引	11,019,000

20,000 株 = 対々。 @ 550.95

存	株金	法定準備金	別段積立金	次期繰越
	1,000,000	+ 300,000	+ 450,000	+ 250,000
	= 2,000,000			

(2)

※	有價証券評價差	1,500,000
	不動産	1,000,000
	責任準備金過剰積立額	900,000
	失効契約に対する責任金積立額	550,000
	合上 二社へ利益配当積立額	50,000

	計	4,000,000
--	---	-----------

36	2960
30	2

$$\frac{6.60}{2960} \times \frac{20}{38} = 33$$

最初の支払費と未償却金との差額
(即年割に付徴収済の支払費)

12月 0.25 (36 - 35.75)

12月 8.59 (2960 - 31.01)

12月 21.76 (2960 - 17.84)



昭和 26 年受理

10年 保存

消 366 號

1 冊

第 84 函

137

引継書 57 年	226 号
起終年月 年	収容件数 件
保存期間 永久	(10年) (5年) (3年) (1年)
保管単位	(営業局総務係)

昭和 46 年 1 月末まで保存

延長
56.12.
まで